

第4章 お金の見える化”が未来を変える！

～経費・会計・資金繰りの超入門～

お金の流れを見える化できていないと、どんなに頑張っても「なぜかお金が残らない…」という状況に陥ります。

逆に、お金の見える化ができれば、未来の資金不足を予測し、経営や生活を安定させ、必要な投資判断もできるようになります。

この章では、給与所得者・フリーランス・個人事業主が今すぐ実践できる“経理・会計・資金繰り”の基本を学びます。

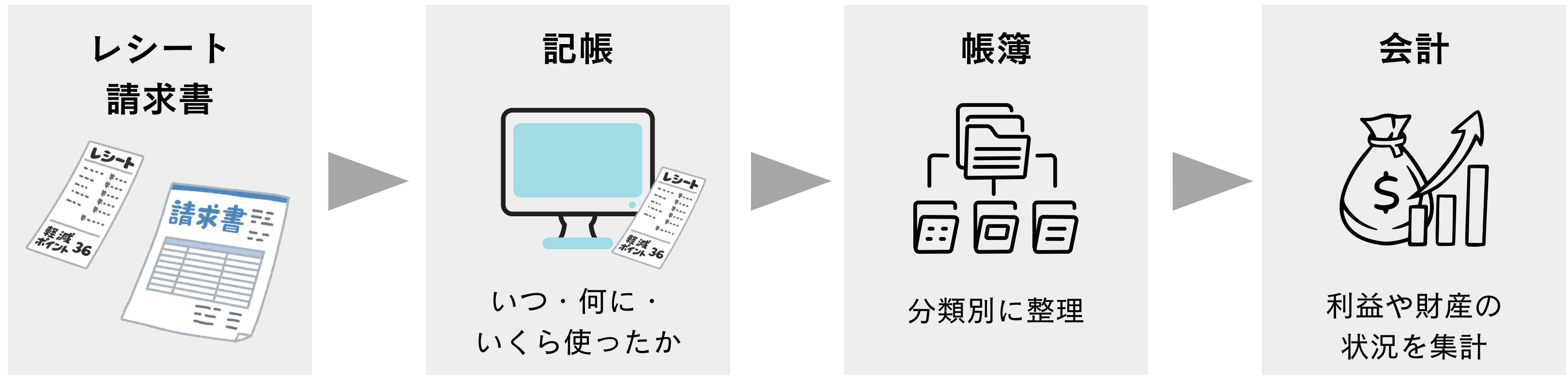
「数字が苦手」という人でも大丈夫。
楽しく、シンプルに解説していきます。

4-1

経理の基礎（記帳・領収書・帳簿）

経理とは、お金の動きを記録する仕事です。イメージは「お金の家計簿」＋「未来予測」

経理の流れ



記帳の基本ルール

- 日付・金額・科目を正確に
- 証拠（領収書・請求書）を残す
- できるだけリアルタイムで記録する

4-1

経理の基礎（記帳・領収書・帳簿）

5つの分類（科目）

経費

（事業で使った費用）



売上

（収入）



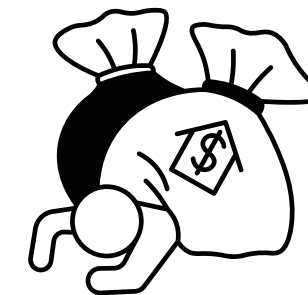
資産

（現金・売掛金・在庫など）



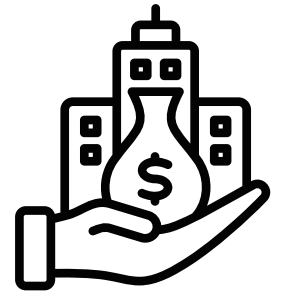
負債

（借入金・未払金など）



資本

（元手・累積利益）



経理は冷蔵庫の整理と同じです。
ケチャップを冷凍庫に入れてしまうと後で探すのが大変。
正しい場所（科目）に入れるのが、後でラクになる秘訣です。



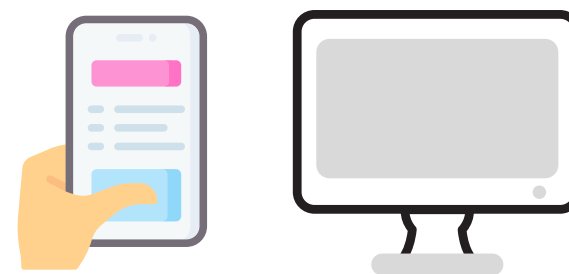
4-1 経理の基礎（記帳・領収書・帳簿）

領収書管理の3秒ルール

1 即スマホで撮影
(電子帳簿保存法に対応)



2 アプリやクラウドで
日付順に保存



3 原本は月毎にファイル保管
(最低7年間)



帳簿の種類と役割

【現金出納帳】

現金の入出金を管理

【預金出納帳】

銀行口座の入出金を管理

【売掛帳／買掛帳】

掛取引の管理

【経費帳】

経費の内訳を管理

4-2

会計の基本構造（損益計算書・貸借対照表）

経理で集めたデータをまとめたのが「会計」 会計は大きく2つの表で構成されます

【損益計算書（P/L）】

期間の成績表

1年間や1か月間など、
一定期間の儲けを表示

「売上」－「経費」＝「利益」

経費

7,000,000



利益

3,000,000



売上

10,000,000



4-2

会計の基本構造（損益計算書・貸借対照表）

【貸借対照表（B/S）】

ある時点の財産の健康診断書

黒字なのにお金がない理由

- 売掛金が未回収
- 在庫が増えた
- 借入金の返済(元金)は経費にならない

黒字倒産は、成績は優秀なのに体力が尽きて倒れるマラソン選手みたいなものです



資産

現金
500,000



売掛金
200,000



負債

借入金
300,000



資本

資本金
400,000



4-3

資金繰り表の作り方

資金繰り表は“未来の現金残高を予測する表”です。作り方はシンプル。

期首残高	500,000	スタート時点の現金
入金予定	800,000	売上入金、借入など
出金予定	1,000,000	経費支払、税金、返済など
期末残高	300,000	期首 + 入金 - 出金

[日本政策金融公庫](#)のHPから
各種書式がダウンロードできます

資金繰り表は天気予報です。
雨が降る（お金が減る）とわかっていれば、
傘（借入や節約）を準備できます。



4-4

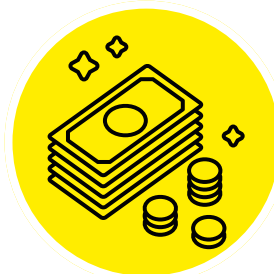
キャッシュフローと利益の違い

利益が出ていても、キャッシュフローがマイナスだと倒産の危険があります。



**利益があっても
お金が減る例**

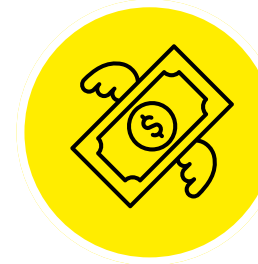
- ・ 売掛金の回収遅れ



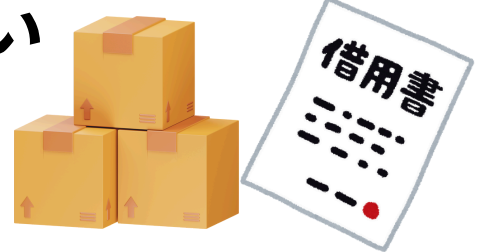
* 入ってくるお金が少ない



- ・ 借入金元金の返済が多い
- ・ 在庫を多く仕入れた



* 出ていくお金が多い

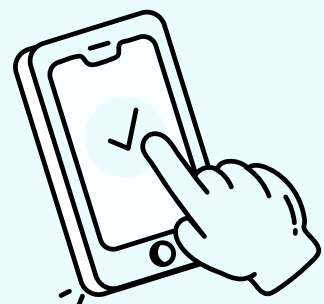


4-5

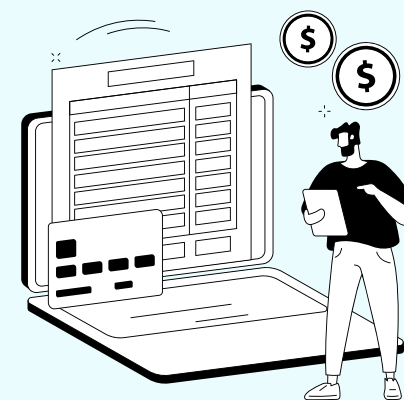
経理をラクにするツール活用法



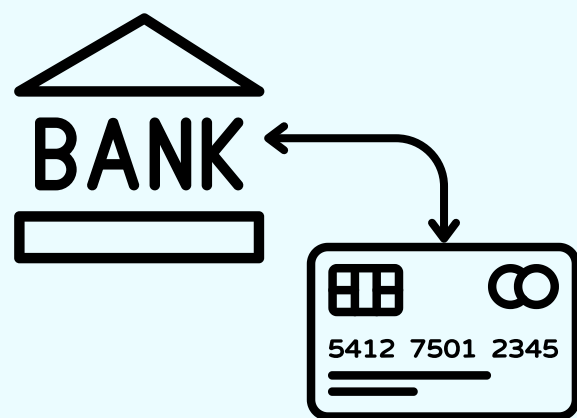
【クラウド会計ソフト】
freee、マネーフォワード、
弥生オンライン



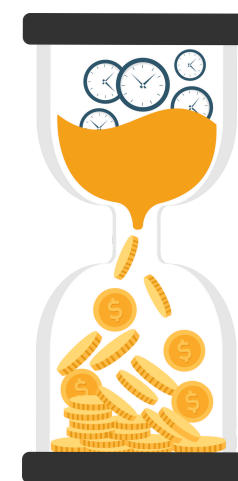
【レシート撮影アプリ】
自動仕訳



【請求書発行ツール】
入金管理 & 催促自動化



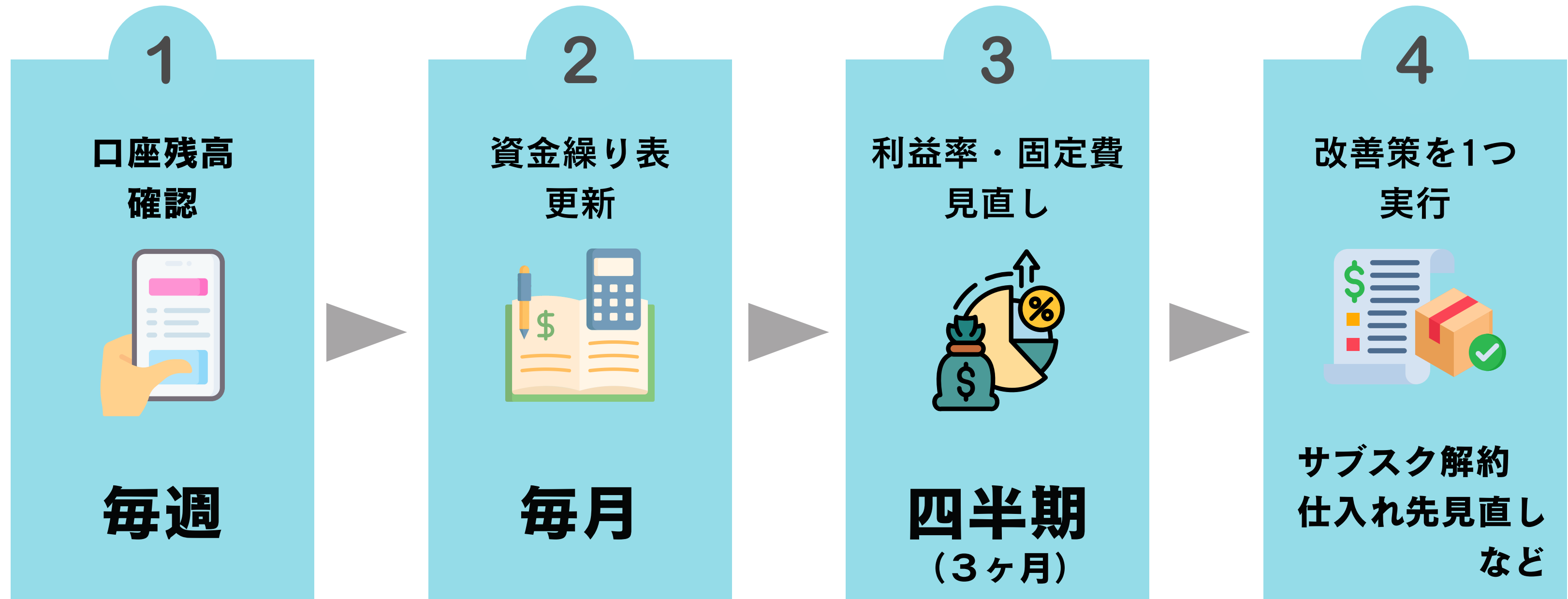
【銀行・クレカ連携】
入力漏れ防止



“経理をやる時間”ではなく、“経営判断をする時間”を増やすのが目的

4-6

実践的 「お金の見える化」 ステップ



4-7

ワーク（自分のお金を見える化しよう）

お金の健康診断（事業＋家計） まずは現在地を正しく知る

事業用残高	
現金	円
事業口座	円
売掛金	円
未払金	円
借入金残高 (返済額)	円 (円/月)

個人用残高	
現金	円
個人口座	円
クレジットカード未払	円
個人ローン残高 (返済額)	円 (円/月)

4-7

未来の資金繰り（事業＋家計）

事業も家計も同じカレンダーで予測する

8月

事業	日付	内容	金額	備考
入金予定	8/5	売上	150,000円	
			円	
出金予定	8/18	仕入れ	50,000円	
			円	

家計	日付	内容	金額	備考
入金予定	8/25	給与	300,000円	
			円	
出金予定	8/20	家賃	60,000円	
	8/20	水道光熱費	12,000円	

手元に残るお金を予測



4-7

家計簿フォーマット（シンプル版）

「固定費」と「変動費」に分けるだけで、お金の使い道が見える

【固定費】 毎月一定額

項目	金額
家賃 住宅ローン	円
光熱費 (平均)	円
通信費	円
保険料	円
サブスク	円
固定費合計	円

【変動費】 使うたびに変わる

項目	金額
食費	円
交通費	円
娯楽・交際費	円
衣服・日用品	円
サブスク	円
変動費合計	円

4-7

事業と家計のリンク図

事業利益から家計への流れを見える化



事業から家計へ移す「生活費の金額」を固定化すると資金管理がラクになる

4-7

改善アクションプラン

事業＋家計の両面からお金を残す

	固定費で減らせるもの	変動費で減らせる習慣	入金を早めるための工夫
事業	例) サブスク解約	例) 仕入れ先見直し	例) 電子請求書サービスを導入
家計	例) スマホプラン見直し	例) 外食を減らす	

出金項目の見直し → 改善策を実行 → 手元に残るお金を増やす